

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	宇部市立西岐波中学校	実施時間	学級活動
-----	------------	------	------

1 ねらい

- 自然災害から自分の命を守るために、地震や津波から身を守る備えについて理解させるとともに、自分に出来ることを考えさせ、家族での取組につなげることができるようにする。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
1 本時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災とはどのようなことか。」と問いかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地震は、山口では起きないから大丈夫。」と答える生徒が多いと予想される。</li> <li>・防災意識をもつことの大切さを伝えたい。</li> </ul>
2 グループでハザードマップ等を見て、自分の家の場所と避難場所を調べ、避難経路を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県が作成した資料や宇部市のハザードマップを活用させ、避難場所や避難経路を検討させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床波地区は海に面した場所にある。過去に床上浸水も経験している。また、今年の大雨の時、西岐波小学校の裏山がくずれた。地震だけでなく、様々な災害の可能性についても考えさせる。</li> </ul>
3 山口県の災害対策状況や自分の家の地震対策を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災教育テキスト」を活用し、地震の起きる仕組みの図、山口県の活断層の地図を見せ、地震が発生する可能性を確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県は地震の被害が少ないので、自分のこととして考えられない生徒が多い。資料を見ることで具体的な山口県の被害を知ることができる。</li> <li>・西岐波中学校の海拔が玄関に表示してあるが、何メートルかを覚えている生徒は少ない。南海トラフ巨大地震が発生した場合のシミュレーションの資料を見せ、災害時の状況及び対処方法をグループで考えさせる。</li> </ul>
4 地震や災害から命を守るための対策についてグループで考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が発生したら、どうしたらよいかを考えさせる。 「教室で授業をしている時」 「家庭で料理をしている時」 「自分の部屋で寝ている時」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で地震が起きたらどうするかを具体的にシミュレーションさせ、避難経路も確認させる。</li> </ul>
5 非常持ち出し袋に入れたらよいものについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の地震災害等より、あったら便利なサランラップ、笛、ガムテープ等の使用方法を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常持ち出し袋を準備している家庭は西岐波地区ではほとんどない。しかし、学習を通して、もしもの備えの必要を理解させ、家庭に帰って家族で取り組む活動につなげたい。</li> </ul>
6 資料をもとに、日頃からの備えについて家族とともに考えることの必要性を理解し、そのための手順を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の場合、携帯電話での通話はほとんどできなくなる。災害伝言サービスによる連絡方法があることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の確認や災害時の集合場所、連絡方法を決めていない家庭がほとんどである。家族での話し合いの大切さを伝えたい。</li> </ul>



【非常持ち出し品の準備・点検について】  
避難場所での生活に最低限必要な物です。家族でチェックしてみましょう。

持ち出し品	確認	持ち出し品	確認	持ち出し品	確認	持ち出し品	確認
水		非常食		お金		消火器	
医薬品		懐中電灯		笛		着替え	
ホイッスル・防災頭巾		ラジオ		避難		ライター・マッチ	
救急用品							